

1) 大田区障害者福祉連絡協議会

障害の福祉向上のため、障害者及び関係団体等に区政情報を提供し、意見の交換を行い、その意見、要望を大田区地域保健福祉計画に反映させることを目的として活動しています。

2) 大田区地域保健福祉計画推進会議

大田区における地域保健福祉の基本的な考え方を区民と協働して検討するとともに、大田区地域保健福祉計画の総合的な推進を目指して設置されました。計画の策定にあたり必要な事項に関する事、計画の推進状況に関する事、計画に対する提言に関する事等の検討を行っています。学識経験者、各種団体代表、公募委員など20名以内の委員で構成されています。*会議は傍聴することができます。

3) おおたUD（ユニバーサルデザイン）のまちづくり区民推進会議および普及部会

平成23年3月に「大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針」が策定され、この基本方針に基づき、平成23年11月に「おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議を設置しました。「区民」「事業者」「地域の団体等」「区」等が協働で知恵を出し合い、推進体制の一つの柱としてスパイラルアップの一翼を担い、率先してユニバーサルデザインのまちづくりを推進する組織です。学識経験者、福祉、まちづくり、地域。商工業・観光など関係する分野からの委員と公募委員の19名（平成23年11月2日現在）で構成されています。UD区民推進会議には「UD推進部会」と「UD普及部会」の二つの専門部会があります。

4) 大田区移動等円滑化推進協議会および区民部会

おおた街なか“すいすい”ビジョンおよび（仮称）かまた街なか“すいすい”プランの策定までを検討、連絡、調整する組織です。大学学部長教授を委員長とし、建築、交通等を専門とする2名の学識経験者と区民等、事業者、関係行政機関、大田区内関係部署等の代表から構成されています。

5) 大田区「しょうがい者の日のつどい」実行委員会・準備委員会

障害のある人も、ない人も共に集い交流することにより、障害者福祉について理解と認識を深めるため、大田区しょうがい者の日のつどいをおこない、より意義深い催しとするため、検討をおこなっています。団体等の代表または団体等が推薦する方をもって構成されています。

6) 大田区立上池台障害者福祉会館運営協議会・虹まつり実行委員会

大田区立上池台障害者福祉会館運営協議会は、地域の方・民生委員・社会福祉協議会・区内障害者団体で構成されています。

虹まつり実行委員会は、運営協議会メンバーに加え、保護者会等と一緒に実行委員会を作り、園祭を開催しています。

7) 大田区自立支援協議会

障害者総合支援法に基づき、障がい者及び障がい児の地域における自立した生活を支援するため、相談支援事業をはじめ、地域の障がい福祉の課題について具体的な検討をおこなうことを目的として区が設置しています。障がいのある方や障がい福祉に係わる様々な分野の関係者で構成される全体会とより専門的な調査検討をおこなう専門部会があります。

8) 大田区障害児者自立支援の会

区内障害者 6 団体で構成し、大田区障害者地域自立生活支援センターにおいて、障害者の地域における自立生活を支援するため、障害者本人またはそのご家族等が相談員となり、日常の問題や悩み事の相談、情報の提供等をおこなっています。

9) まごめ幸陽祭実行委員会

社会福祉法人大田幸陽会運営まごめ園の園祭（まごめ幸陽祭）の実行委員会に参加しています。

10) いつつのわ幸陽祭実行委員会

社会福祉法人大田幸陽祭のぞみ園の園祭（いつつのわ幸陽祭）の実行委員会に参加しています。

11) 大田区居住の場を考える会

平成 24 年度より、大田区肢体不自由児者父母の会・大田区重症心身障害児者を守る会・大田区知的障害者育成会は、区内通所及び入所施設運営の社会福祉法人の皆さまとともに大田区居住の場を考える会を作り、障害者のための居住の場について議論をし、行政に障害のある人たちの居住の場について要望しています。

1 2) おおた UD まちづくりパートナー会議

平成 23 年 3 月に策定された「大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針」に基づき、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進していく仕組みとして「おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー (UD パートナー)」を平成 23 年 9 月に設置しました。ユニバーサルデザインのまちづくりに関心のある区民に UD パートナーとして登録していただき、区の施設や道路等の調査・点検や意見交換をおこないます。その結果は、誰もが社会参加が可能なまちづくりを実現するため、施設等の整備・改善に役立てていきます。また、区民のユニバーサルデザインのまちづくりに対する理解・関心を深めていただく活動等もおこなっていきます。

1 3) ユニバーサル (UD) 点検

現場の条件を確認しながら、事前に登録いただいた様々な立場の UD パートナーと一緒に調査、意見交換等をします。(例：段差の確認、視覚障害者用 (点字) ブロックの敷設位置など)